



1. 2月の開館案内

2月の開館

		開館時間	閉館時間
1	木	9:10~17:50	11:30~12:30
2	金		
3	土	10:30~15:30	
5	月	9:10~17:50	11:30~12:30
6	火		
7	水		
8	木		
9	金	9:10~16:50	閉館なし
13	火	9:10~17:50	11:30~12:30
14	水		
15	木	9:10~16:50	閉館なし
16	金	9:10~17:50	11:30~12:30
17	土	10:30~15:30	
19	月	9:10~17:50	閉館なし
20	火		
21	水		
22	木		
24	土	10:30~15:30	
27	火	9:10~17:50	閉館なし
28	水		
29	木		

(注：記載のない曜日は閉館です)

2. 新着図書を紹介

たくさんの新着図書から図書館員の一押しを紹介します。

・「大阪弁で読む『変身』」カフカ（著）



グレゴール・ザムザはある朝けったいな夢から目が覚めてみたら、ベッド中で馬鹿でかい虫に変わってる自分に気がついた。カフカの名作小説をまさかの大阪弁で翻訳！

・「精神科医が教える幸せの授業」樺沢紫苑

30枚のイラストを見るだけで、科学的に幸せになる方法が身につく！ あなたがよかれと思ってやっていることの多くが、あなたを幸せから遠ざけていたのです。普段読書をしないう人や、中高生にも。



・「アフリカで、バッグの会社ははじめました」

江口絵理（著）



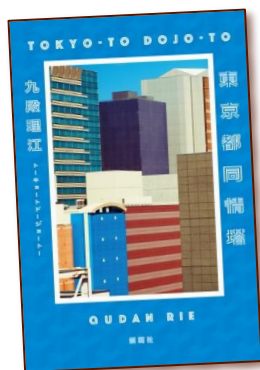
バッグづくりを通してアフリカの貧困問題を解決し、女性を勇気づけ、輝かせたい—迷い、遠回りしながら、自分の信じる道を歩んできた仲本千津さんの姿を描く“進路決定”ドキュメンタリー。

祝 直木賞受賞

3. 第170回 芥川賞・直木賞受賞作品紹介

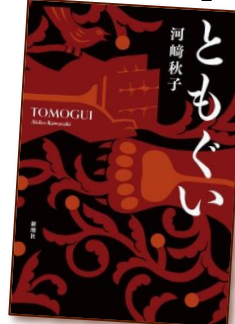
祝 芥川賞受賞

・「東京都同情塔」九段理江（著） 新潮社



ザハの国立競技場が完成し、寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシータワートーキョー」が建てられることに。犯罪者に寛容になれない建築家・牧名は、仕事と信条の乖離に苦悩しながら、パワフルに未来を追求する。

・「ともぐい」河崎秋子（著） 新潮社



明治後期の北海道の山で、猟師というより獣そのものの嗅覚で獲物と対峙する男、熊爪。人間と獣たちの業と悲哀が心を揺さぶる、河崎流動物文学の最高到達点!!

・「八月の御所グラウンド」万城目学（著）

文芸春秋

京都が生んだ、やさしい奇跡。ホルモー・シリーズ以来16年ぶり京都×青春感動作。京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは——。



芥川賞・直木賞についての豆知識

正しくは芥川龍之介賞、直木三十五賞。菊池寛の友人だった芥川龍之介（1892～1927年）、直木三十五（1891～1934年）の名前にちなんだもので、芥川賞は純文学の短編、直木賞は大衆文学に与えられる。

出典：情報・知識 imidas, JapanKnowledgeLib